

議会最前線

医療的ケア児 支援強化へ

田村伸一郎・川崎市議



川崎市は2018年度か
ら、たんの吸引やチューブ

で栄養補給する経管栄養な

ど、日常的に医療的な支援
を必要とする「医療的ケア
児」を対象に実施している
看護師の巡回事業を大幅に
拡充します。

現状では、看護師が市立

小中学校の特別支援学級な
どを訪れ、医療的ケア児1
人につき週2回90分、また
は週1回180分のケアを
実施。18年度からは、家族
の希望に応じて、最大で週
5日、30分単位で、1日に
必要な回数ケアを依頼で
きるようになります。

医療的ケア児は、24時間

目を離せない場合が多く、
親が学校に1日中付き添う
ケースもあるため、支える
家族の負担軽減が求められ
ています。私は16年12月の
定例会で、適切な支援を医
療的ケア児が受けられるよ
うに、小児の在宅医療施策
を行政が主導して推進する
よう求めていました。